

利根川源流探検

平成 23 年 8 月 20 日 (土) 利根川源流のダム群の見学

“坂東太郎”と呼ばれる利根川は、群馬県の大水上山を源流として、関東山地・平野のほぼ全体を流域とする、流域面積で日本最大の一級河川です。利根川流域で集められる水は、関東 1 都 6 県の重要な水道水源であることはもちろん、農業用水・工業用水としても使われ、我が国の産業を支える重要な資源です。こうした“恵み”を与えてくれる坂東太郎ですが、明治 43 年や、戦後のカスリーン台風時には、堤防を決壊させて広大に氾濫することで、大きな“災い”をもたらしてきました。

こうした“災い”を抑えて“恵み”を享受するために堤防やダムが建設・活用されています。そのなかでも大きな役割を果たしているのが、群馬県みなかみ町等に位置する最上流部のダム群です。今回は、こうしたダムの雄姿をじかに見学し、その役割を再確認します。



アーチ構造の堤体



- ・ 矢木沢ダムの見学および奥利根源流域の山深い景色を堪能。
- ・ 新鮮野菜の購入（道の駅に寄ります）

日時 **平成 23 年 8 月 20 日 (土)** 7:30 (集合) ~ 20:00 ごろ (道路交通事情で変更)
集合 7:30 JR 新小岩駅東北口集合 集まり次第出発します。
11:30 矢木沢ダム (ダム本体の中に入ります)
14:00 奈良俣ダム
15:00 藤原ダム・玉原湖 (揚水発電ダム) 車中より
希望により天神平ロープウェイ
募集 先着 45 名 (児童を含む家族参加大歓迎)
参加費 1,000 円 バス代など交通費は実行委員会と関東建設弘済会が負担しています。

主催 市民防災まちづくり塾実行委員会 (申し込み: 080-4006-8819、 boumatijyuku@yahoo.co.jp)
(社) 関東建設弘済会

関東1都5県を潤す利根川

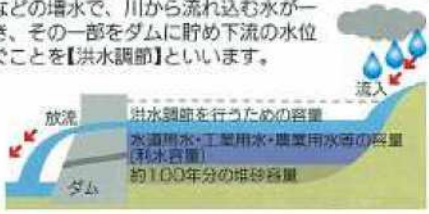


ダムの役目① 水を流す

川の水が不足しないように、ダムで調節しながら安定供給しています。川の水が多いときにはダムに水を貯め、少ないときにはダムから放流しています。利根川の水は水道用水・工業用水・農業用水等、幅広く利用され、水道用水として見ても、1都5県約3,000万人分の水を安定して届ける役割を果たしています。【利水】

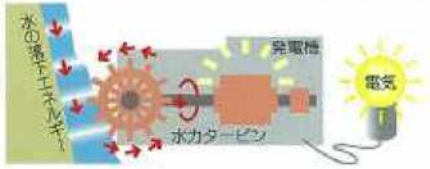
ダムの役目② 水害を抑える

増水した上流の水をダムに貯め、下流の川の氾濫を防ぎます。大雨や雪解け水などの増水で、川から流れ込む水が一定量を超えたとき、その一部をダムに貯め下流の水位が上がるのを防ぐことを【洪水調節】といいます。これにより、下流域にある河川の急激な水位上昇を防ぎ、水害から家や人を守っています。



ダムの役目③ 電気を作る

ダムに貯めた水を一気に放流して、水の力を電気に変えます。多くのダムで、放水するときの水の落差によって生じる「落下する力=水の落下エネルギー」を利用した【水力発電】が行われています。石油などの化石燃料を使わないクリーンエネルギーとして使われています。



新小岩駅東北広場案内図



集合場所

JR新小岩駅北口から北口連絡通路を渡って、ロータリー広場にお集まり（7:30）ください。

